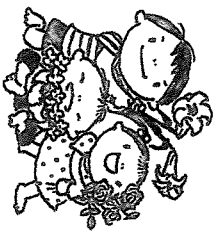


2026年6月号

日本基督教団堺教会
NO.568 献金学校



いすみのひろば



「御心の天になると地にもなされたまえ」

マルコによる 福音書 14章36節

主の祈り 3つ 主のお祈りは、御心の天になると地にもなされたまえ、です。
御心というのは神様のお考え、神様がされようとしていることです。

天というのは空とか天国ということではなくて、神様がいらっしゃる場所のこと。地は私たちがいる場所です。

神様がされようとしていることが、神様の支配されている場所でなされているように、私たちのいるところでもなさせてくださいというお祈りです。でも、御心って、神様がされようとしていることって、何なのでしょう？

実は聖書に、神様の御心が何か、書かれているんです。

今日の聖書では、イエス様が十字架にかけられる前の夜のことが書かれています。

エルサレムのある家の2階の部屋で、イエス様は弟子たちと最後の食事を終えられました。そしてイエス様は弟子たちの中をバトロとヤコブとヨセフの3人だけを連れてオリーブ山に出かけました。そこはゲッセネと呼ばれる場所でした。

イエス様はとも苦しくて悲しそうなお顔をされています。弟子たちに向かって、私は死にそうに悲しい、ここで起きてお祈りをして待っていて下さい、と言われ、イエス様だけが少し先に進みました。

そして、まるで自分の全てを神様の前に投げ出すように、そして神様の助けを求めるように、地面にひれ伏してお祈りを始められました。今日の聖句カードには、お祈りされているイエス様の様子が書かれています。

イエス様はお祈りをはじめました。父なる神様、私は恐れています。これから起こる十字架のことを思うと、私の心は苦しみで引き裂かれそうです。できることならこの苦しみの方が早く過ぎ去るようにしてください。

イエス様はこれから自分が十字架にかかることをご存知でした。人間の罪の深さが、あまりにも大きくて、その罪の身代わりになって死んでしまうことで、大好きなお父さんである神様と一緒にいられなくなることを、苦しまれていたのです。

イエス様は、恐ろしいです、ご自分の気持ちを素直に神様にお話しされました。

イエス様は私たちにどうやってお祈りをするかを教えてくださる方です。イエス様が見本をしめされているので、私たちも苦しい時、苦しい時は神様にお祈りしてもいいことがわかりますね。

聖句カードには、イエス様の次のお祈りが、書かれています。

アッバ、アッバというのは子供がお父さんに呼びかけるときの言葉です。お父さん、と呼びかけて、ごお祈りされました。

あなたは何でもできます。できることなら、この苦しみを取りのぞいてください。でも私は勝手にお願いをして聞いていただこういふではありません。私が罪人になって死ぬことを、神様がお望みで、それがこの世の人々のためになるのなら、どうぞ神様がお望みのようになさってください。1番確かな事は、神様の愛のお心ですから。

これは、イエス様にしかできない大変なお祈りだと思えます。イエス様は主の祈りを教えてくださっただけでなく、ご自身が一番苦しいときであっても、神様の御心をかなえてくださとお祈りをされたのです。

神様の御心とは、どんな弱い人も、ダメな人も、自分勝手に、神様のことをすぐに忘れてしまふ人であっても、「もうこの人

はだめだ、身代りなし！」とあきらめず、一人残らず救おうとされる愛の御心です。そして、その救いの中に、私たち一人ひとりはいつにわたって、神様のことをすくえ忘れたままの人であつても、「もうこの人

私たちは、イエス様になつて「神様の御心になうことが行われますように」とお祈りしませんか。

おはなし(大井 香)先生

アッバ、父よ、
あなたは何でもできる
なれます。この祈りを
わたしから取りのぞいて
ください。しかし、
わたしから祈ることでは
なく、御心になうことが
行われますように。